



ひろがれ  
まわれ  
一つ心に

MORIOKA  
ROTARY CLUB WEEKLY

第35回例会(3月29日)  
平成25年4月5日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL(651)1111(代)  
FAX(653)5622  
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 藤村 文昭  
幹事 佐藤 重昭  
会報 福田 荘介  
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... RI会長 田中作次

ゲスト卓話



「街を歩けば物語に出会う  
—地元楽のスズメ—」

文化地層研究会  
真山 重博 様

スピーカー紹介

昭和23年、盛岡市生まれ。広告代理店に勤務。退職後、自営業に。  
平成12年、「歴史を活かした町づくり」などを模索する文化地層研究会の立ち上げに参加。「城下盛岡旧町名探求地図」の製作、八幡町い組番屋、鉦屋町の町家、青山町の旧陸軍騎兵連隊・覆(おおい)馬場や旧岩手川の酒蔵保存の計画立案に参加、「全国高校生短歌大会」や「盛岡もの識り検定」の実施運営などの活動のほか地元学の各種講座を担当。  
著作「もりおか歴史散歩・旧町名編」(東北堂)・「もりおか歴史散歩・緑の人物編」(東北堂)生活情報紙 Apple に「もりおか歴史散歩・みちくさ編」連載中。(阿部 広会員)

こんにちは。文化地層研究会の真山と申します。

文化地層研究会とは？

「地層」の二文字が入っているため、考古学の勉強をしている団体と誤解されがちですが、実態は『文化や歴史は地層のように重なっている。街歩きをしながらそれらを掘り起こし、自分たちの住む盛岡の街をもっと知り、盛岡暮らしを楽しむと共に、再発見した盛岡の魅力や物語を、これからの街づくりに生かして行こう』と活動している市民グループです。

年齢、職業、性別を問わず、規約、会費、定例の会合はなし。規約も報酬もないので権限も責任もないといういたってアバウトな団体です。入会の条件は、盛岡が大好きなこと(もっと知りたい人も可)、メールアドレスを持っていることの二点のみ。

アイデアや問題意識をもって、メーリングリスト(メールの回覧板)で会員に呼びかけた人が座長になり、呼びかけに応じて集った人たちがプロジェクトチームを作りアクションを起こす—という「この指とまれ」方式。

例えば「南部家累代の墓参りをしますので、行きたい人は〇月〇日〇時、殿様の予習をして北山聖寿寺前に集合してください—呼びかけ人〇〇」という具合です。

こんな手法でこれまで

- 旧町名探求地図、啄木・賢治青春の記憶探求地図、盛岡城跡公園ガイドマップ等の制作
- 八幡町い組の番屋や鉦屋町の町家、旧岩手川「浜等の酒蔵」、青山町旧陸軍覆馬場などの保存活用運動
- シンポジウム「旧町名復活井戸端会議」の開催や実際に旧町名を復活させた金沢市視察ツアー
- 鉦屋町の町家で手打ちそばをたべ、もっきりを飲みながら古老の盛岡弁を聞く会
- いしがきミュージックフェスティバルなどでの城跡ボランティアガイド
- 全国町並みゼミ盛岡大会開催のお手伝い
- 全国高校生短歌選手権大会(短歌甲子園)のお手伝い
- 盛岡商工会議所主催の「盛岡もの識り検定」実施のお手伝い  
などの活動をしてきました。

## 犬と歩けば物語に当る

私の場合は、50歳過ぎてから始めたメタボ解消目的の犬の散歩が盛岡再発見につながりました。

最初は盛岡視覚支援学校グラウンドの『ヘレン・ケラー女史お手植えの木』の標識が目に入った時です。普通のサラリーマンだった私が今、皆さんの前でこうしてお話させていただくようになったきっかけ、大げさに言えば「人生の転換点」がこの日の朝の散歩だったのです。

「へーっ、あの『奇跡の人』がここに来たのか」

帰宅後、さっそくネットで「ヘレン・ケラー、来日」を検索、昭和12年に講演旅行のため初来日、6月29日に盛岡でも講演していることがわかりました。その翌日付の岩手日報には、講演の合間に当時の県立盲啞学校を訪問し生徒達を激励、記念植樹をしたことが報じられていました。

というわけで、いつもはクルマで素通りしている所を歩いてみると、そこにはゴロゴロと面白い話が転がっていたり埋もれていたりに気がついたのです。

盛岡で生まれ育ち暮らしていたのに、恥ずかしながら、そんなことはつい最近までまったく知りませんでした。犬の散歩をしながら再発見したのです。

インターネットの掲示板で、散歩で知りえたことや思い出したことなどの情報交換をしているうちに、類は友を呼んで文化地層研究会なるものが誕生。先ほどご紹介したような活動を始めたわけです。

## まず自分自身がこの街の物語を知ること

活動をしていて感じることは、地元の人間ほど地元のことを知らないということ。

数年前の私もその一人でした。

「盛岡には何か見るものあるの？」と聞かれたときに「なーんにもながんす」と応えてしまう人が多いのは残念です。確かに全国区のお城もお寺も大仏もタワーもテーマパークもありません。しかし、盛岡だけにしかないモノ、人、物語はたくさんあるはずですよ。

例えば、中央通、ヒノヤタクシー本社前は、南部家重臣の屋敷が建ち並んだ内丸と中・下級家臣の居住地である仁王小路の境界にあった日影門の跡、隣接する藩校作人館跡は盛岡で最初の小学校（仁王小）があった場所で、明治9年7月、東北巡幸の明治天皇が、岩倉具視、木戸孝充、大隈重信、大久保利通など大河ドラマに登場するような面々を引き連れ、授業参観に立ち寄っています。

会員の皆様の顔ぶれを拝見しますと、桜山神社さんとか徳清倉庫さんなど盛岡の歴史や文化の身近なところでお仕事をしておられる方もおいでのようです。

例えば、今回私にお声をかけて下さった阿部広さんが勤務する志家のIBC岩手放送本社にしても、ご存知のように昔は葛西邸と呼ばれた由緒ある場所です。旧南部藩士の家系で、明治から大正にかけて岩手銀行頭取であった葛西重雄が造ったお屋敷と庭園は、後にその養子で東京駅や岩手銀行中の橋支店などの設計にかかわった建築家の葛西萬司が相続し、昭和16年には松尾鉦山が買収します。戦後は駐留米軍司令官や天皇皇后両陛下の宿舎として利用された所です。

昭和39年にIBCさんがここに本社を移したわけですが、当時の太田俊穂社長を訪ねてきた司馬遼太郎は「このテレビ会社の玄関前に立ったとき、声をあげそうになった。このテレビ会社そのものが森の中にたっていることであった」とその時の印象を書いています。前庭にあるサイカチの木はどの「葛西家」にも必ず植えられている木と言われています。「葛西が勝つ」

というわけです。

この手の話が、盛岡の街のいたるところに埋もれているのです。

## テーマを決めて歩く散歩

散歩のテーマは歴史だけに限りません。例えば、川の町盛岡の橋めぐり、十大清水めぐり、保護庭園めぐり、銅像・彫刻めぐり、お寺・お墓めぐり、石碑・歌碑・句碑めぐり、保存建築物・保存樹木めぐり、市内三十三観音巡礼や戦争遺跡めぐり等々、果てしなくあります。

## 盛岡は結構点数の高い都市

よく、転勤族のほうが地元の人よりもその土地に詳しい場合が多いといわれます。彼らはお互いに情報を交換し、縁あって暮らすことになった赴任地を少しでも楽しもうというライフスタイルがあります。その転勤族の方々に盛岡ファンになってもらうことが、戦略的にとても重要なことは言うまでもありません。そしてありがたいことに、彼らにとって盛岡は結構点数の高い都市なのです。ちょっと前のデータですが、

### ■「日本一の県庁所在地」朝日新聞

(2009. 12.23)

アンケートの結果は、1位が札幌、2位が京都、3位が横浜、以下、神戸、仙台、金沢と続き、盛岡は宮崎市の次、長野市の前の47都市中18位。この記事中に掲載されていた囲み記事が次の文章です。

アナウンサーの宮本隆治さんがNHK時代、47都道府県庁所在地すべてを訪れ、最も印象深いのが「盛岡市」。

「戦災を免れ、明治・大正期の建物や街並みが残っている。失われつつある日本の原風景が確かに存在している。岩手山に抱かれ、街の中

には中津川が流れ、それほど大きな建物も少なく人間の体の大きさが生かされている街。ゆっくりと歩いてみたくなる街」と表現されています。

### ■時事通信社「くらしと環境に関する世論調査」

「住みやすさ指数」で04年度、05年度の2年連続、盛岡市が全国49都市（都道府県庁所在地に政令指定都市の川崎、北九州両市を加えた都市）の中で総合1位にランクされています。

### ■東洋経済新報社版「都市データバンク2008年版」の調査『全都市住み良さランキング』

784都市中36位。うち県庁所在地中6位（東日本では1位）でした。

### ■『BRUTUS』（マガジンハウス）の2010年3月15日号で、『魅力ある地方都市ランキング50』で盛岡市が9位。

という具合に、いずれもなかなか高い評価をいただいています。

### \*ご当地検定のススメ\*

自分が暮らす街にどんな歴史や文化が埋もれているのか？

ご当地検定は、新旧住民の交流、世代間交流の手段、すなわちコミュニティ活性化の手法としても効果的です。住んでいる街のことがわかると、もっと愛着がわき誇りが持てるはず。そしてその街を大切にしたいと思うようになります。

春の陽射しの下、皆さんも街中を歩いてみてはいかがでしょうか。思わぬ宝物や物語が見つかるかもしれません。

本日はご清聴有難うございました。